

陽だまり通信

市民福祉活動団体
NPO法人「陽だまり」事務局
東広島市西条朝日町十一十六
(082) 四二二一四二一五

NPO法人となって初の総会が、去る四月二十四日に

東広島市民文化センターで開かれた。参加者は例年通

りであったが、従来のように報告会でなく、総会であ

ったことよって内容的には相当の反響を呼ぶもの

となつて、活発な意見交換がなされた。

新代表あいさつ

廣瀬吉夫

旧代表の市川さんは、実によくその責務をまっとうされました。とりわけ衣替えをした陽だまりの事務所移転、さらにNPO法人化に向けての、ご労苦には頭の下がる思いで一杯です。旧代表の偉業を引き継いで陽だまりを発展させるのが私に与えられた大きな宿題です。

会員相互のニーズをしっかりと問い直しながら、会の運営に当たりたいと思います。みなさまの一層のご支援を心よりお願い申し上げます。

旧代表あいさつ

市川マヤ

代表という重責を担った、長くて短い一年が過ぎました。至らないことも多々あったと思いますが、若輩者の私が曲がりなりにも代表職を一年間無勤めることができたのは、周囲の諸先輩方のサポートと会員のみなさまのご協力のおかげと感謝しております。昨年はチャレンジの一年でした。今年は蒔いた種が芽を出した大輪の花が咲くように、新代表の基で力を尽くしていきたいと思ひます。一年間ありがとうございました。

平成16年度陽だまり役員一覧

- | | | |
|--------------------|--------|------------------|
| 代表 | 廣瀬吉夫 | 広島ビジネス専門学校校長 |
| 副代表 | 塩谷 茂 | NPO芸南たすけあい事務局長 |
| 渉外・広報 | 廣瀬長子 | 社会福祉士・民生委員 |
| | 前原裕子 | 介護福祉士 |
| 事務局長 | 市川マヤ | 社会福祉士・ケアマネージャー |
| 事務局 | 佐々木政美 | ホームヘルパー二級 |
| | 石井弥生 | 保育士・ホームヘルパー二級 |
| | 早稲森美代子 | 保育士・介護福祉士 |
| 監事 | 前原一之 | 経営アドバイザー |
| 尚本年度は一名の顧問を置くこととした | | |
| 顧問 | 佐川育子 | 広島ビジネス専門学校介護福祉学科 |
| 顧問 | 長井秀樹 | 税理士・広島会計学院副校長 |



提案する市川代表

陽だまり抄

いまの時代、何が起るか。全く見当もつかない。かつては考えられないようなことがマスメディアを賑わしている。事件の数もおびただしい。▲先日もある新聞の社会面で、四つの事件が一度にとりあげられていた。いずれも少女にまつわる殺人事件や虐待の話題であった。▲いずれもかつてであれば映画や物語の世界のものであったことが起きている。政治の世界でも同様である。子どもたちにも悪い見本をまき散している。憂うべき事態である。▲とりわけ子どもたちが主役となった事件には心が傷む。確かにその背景は「命」を大切にしないことと風潮のなせることが多い。▲事件が起きる度に「命」の大切さを説く。しかしいつの間にかそれどころかにかたわすれられて

いる。▲思うに人を殺めることにかつてほど抵抗感を感ずる人が減っている。テレビでは殺人事件を扱った番組が蔓延している。大人であればある程度冷静に対応できる。▲簡単に殺人事件がおこる。子どもたちは事件の起る背景までは思いが至らない。自分の意にそわないうことがあれば利己的に事件を起してしまふ。そのプロセスに目を向けないで結果だけに走っている。マスメディアの責任も重大である。命の大切を教えたり、重みを実感する場もほとんどない。▲この国では宗教家の活動がほとんどない。日常的にくり返し教えていくことに意味がある。学校も家庭も、更に宗教教育もしかりである。このことをしっかりと自覚しない限り、また同じような事件が起きる。油断のならない世の中である。――

夏休みこども体験教室

開催日時	教室名
7/27 (火)	ホテルかごをつくろう
8/3 (火)	こども俳句にチャレンジ
8/24 (火)	おじゃみ(お手玉)をつくろう

- 【開催場所】板城公民館
 - 【後援】東広島市役所
 - 【時間】10:00-11:30
 - 【募集予定】小学生30名
 - 【参加費】各300円(材料費)
- 詳しくは事務所へお問い合わせください。

塩谷・市川の紙上Q&A

塩谷さんは、現在NPO法人「芸南たすけあい」創設者のひとりであり、本年度陽だまりの新副代表に就任された。長年にわたり福祉活動に携わってこられた方であり、一方質問者の市川さんは陽だまり代表として、事務局長としてラチ腕をふるってこられた。今回はお二方に紙上で対談していただいた。

Q1 塩谷さんは奥の地でNPO法人芸南たすけあいを立ち上げ、運営を軌道にのせましたね。成功の秘密は何ですか。

- A ① ボランティア精神に富んだ良き人材に恵まれたこと
 ② 会社OJの経験豊富なノウハウを活用できたこと
 ③ 常に問題意識を持ち、目標を明確化し、役割分担を決め、組織的に活動し、その結果を議論し、改善し続けていること
 ④ 何よりも大切なのは「目標達成のための熱意と努力である」である。

Q2 これまでの活動を通して、社会におけるNPOの役割りは何だとお考えですか。

A P.F.F.トラックの言葉にあるようにNPOはミッションを大切に、企業や行政では実行することが困難な「社会の問題解決のための組織」であり、能力ながら我々も可能な範囲で社会変革のための努力をしていきたい。

Q3 陽だまりは、東広島地区においてどのような存在を目指すべきでしょうか。

A 「地域に住む高齢者、障害者が安心して暮らせるような社会を築いていくために、地道な努力を継続し、その改革の輪を拡げていくべきである。」

Q4 最後に、陽だまりの今年の課題はやはり何でしょうか。

- A ① 現時点においては、財政基盤の安定強化が最重要課題であり、当面次の二点に焦点を絞り、総意を結集してベストを尽くしたい。
 ② 昨年度スタートした訪問介護事業の事業規模を今年度末までに倍増する。

③ 今年度事業化する二つの事業「障害者支援事業とケアマネ事業」を円滑に軌道に乗せる。

質問者市川のコメント

「陽だまりの進むべき道がしめされた。それに向かって教習を出し合って取り組んでいかなくてはならない。」と思った

事務局だより

一 事務局の体制

新年度に入り事務局に一名増員、四人体制となった。事務局員は、市川、佐々木早稲森、石井の四名である。事務局スタッフには、現在満足には、給料が払えない状況は続いているが、スタッフ一同は個々のボランティア精神と若さに支えられている。今年もよろしくお願います。

二 会員の動静

今年度も会員登録更新の受付を二月末より行い、百八十名中百三十六名一六名、現在約百八十名の方が更新した。多くの方が、陽だまりの活動に期待と応援をしてくれている証拠と受け止めている。事務局としても一層の気を引き締めて頑張ろうと心新たにしている。活動についての意見助言

三 各サービスの状況

有料在宅福祉サービス
 一 助け合いサービスでは、一ヶ月に約六十名の会員が利用し、約三十名の活動者がそれぞれを支えている。
 利用者数、利用件数、利用時間数共に月を追うごとに増加し、この四月は過去最高を記録した。介護保険のホームヘルプサービスは、現在十四名が利用している。
 陽だまりヘルパーならでの柔軟さがケアマネージャーの間にも徐々に浸透し、少しずつであるが、利用者が増えてきている。また五月には障害者のヘルパー事業も開始し、開始早々一名の利用があった。どちらかというところ、これまで高齢者へのサービスが多かった中で、新たな領域での活動は新しい発見が多く、勉強の毎日である。

があればどしどし事務局まで。

陽だまり居宅介護支援事業開始

—ケアプラン作成・介護保険利用相談等—
 担当 ケアマネージャー市川 マヤ

7月1日より、陽だまりでは、居宅介護支援事業—ケアマネージャー—をはじめました。

生活でお困りのこと、介護保険のこと、何でもお気軽にご相談ください。

TEL—082—422—4115

—長子—

編集後記

市中はものにおいや
 夏の月 芭蕉
 二つしの梅雨は空を梅雨にちがいません。きわめて男性的な様相を呈しています。

「陽だまり通信」の発行がおくれました。

原稿をあらかじめ寄せていただいていた皆さんに心からお詫びします。今回は新年度に入り若干のメンバーの変更があり、何かと新鮮な気分にもひたりましたが、それにひきかえ編集者は同じです。ことしあたりは交替して新味をだしていきたいと思います。今回は塩谷・市川の紙上対談がユニークです。この企画は連載といきたいところですが、いかがですか。